

2025（令和 7）年 5 月 30 日

東京都千代田区四番町 5 番地 3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

第 50 回井上春成（いのうえはるしげ）賞 受賞者決定について

井上春成賞委員会（委員長 橋本 和仁）は、第 50 回井上春成賞の受賞者を決定しました（別紙 1）。

「井上春成賞」は、科学技術振興機構の前身の 1 つである新技術開発事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもあった井上 春成 氏が日本の科学技術の発展に寄与した功績に鑑み、新技術開発事業団の創立 15 周年を記念して創設された賞です。

本賞は、大学や研究機関などの独創的な研究成果を基にして企業が開発、実用化した技術のうち、日本の科学技術の進展や経済の発展に寄与し、福祉の向上に貢献した、優れた研究開発（技術）を表彰するものです。1976 年に第 1 回の表彰を行い、今回で 50 回目の節目を迎えます。

今年度の表彰技術は、自薦を含む推薦方式により 2024 年 12 月 2 日から 2025 年 2 月 28 日までの期間に募集し、その中から 2 件を井上春成賞選考委員会（別紙 2）で選考し、この結果に基づき井上春成賞委員会（別紙 3）で決定されました。

表彰は、表彰技術ごとに研究者 1 名および企業代表者 1 名を対象とし、井上春成賞委員会委員長名による賞状および賞牌を贈呈します。

また、新技術振興渡辺記念会より副賞として、研究者に対して研究奨励金 200 万円が贈呈されます。

主催：井上春成賞委員会

共催：科学技術振興機構

後援：新技術振興渡辺記念会

<添付資料>

別紙 1：第 50 回井上春成賞 受賞者

別紙 2：井上春成賞選考委員会委員

別紙 3：井上春成賞委員会委員

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構内 井上春成賞委員会事務局

〒332-0012 埼玉県川口市本町 4 丁目 1 番 8 号 川口センタービル

宮田 秀幸（ミヤタ ヒデユキ）

Tel：048-226-5618

E-mail：[inouesho\[at\]jst.go.jp](mailto:inouesho@jst.go.jp)

第 50 回井上春成賞 受賞者

(敬称略)

受賞技術の名称

「超臨界流体法と液体法をインラインで一体化したユニファイドクロマトグラフィー」

研究者：馬場 健史（バンバ タケシ）

九州大学 生体防御医学研究所 主幹教授

企 業：株式会社島津製作所（代表取締役社長 山本 靖則）

＜受賞理由＞

従来、分離・分析手法である超臨界流体クロマトグラフィーは疎水性化合物の分析には有用であったが、親水性化合物や不安定な化合物の分析には適さず、限られた分野での利用にとどまっていた。

本技術では、インラインで抽出分離（超臨界流体抽出）後、直ちに超臨界流体クロマトグラフィーにより分離・分析を行う新たな装置を開発し、超臨界流体クロマトグラフィーの利用を拡大、有用な知見を提供した。さらに、超臨界流体クロマトグラフィーと液体クロマトグラフィーを融合した新たな拡張分離モードである「ユニファイドクロマトグラフシステム」を世界に先駆けて提唱、製品化し、疎水性化合物以外の幅広い化合物にも、特に代謝物の網羅的な解析を目的とするメタボローム解析や残留農薬分析などへの効果的な適用技術の開発に成功、その有用性を示した。

本技術は、過去に例のないユーザーのニーズに基づき、初期段階から密な産学連携により実用化した成果であり、基礎研究や企業における研究開発および分析化学分野の発展に貢献した。

受賞技術の名称

「深海環境から着想を得た乳化剤の連続生産方法と高機能食品添加物への応用」

研究者：出口 茂（デグチ シゲル）

海洋研究開発機構 海洋機能利用部門 生命理工学センター長

企 業：三栄源エフ・エフ・アイ株式会社（代表取締役社長 清水 康弘）

＜受賞理由＞

従来、食品用の乳化剤として、高分子多糖アラビアガムが全世界で最も広く消費されているが、最大の生産国であるスーダンの政情不安により、供給に不安を抱えていた。また、代替素材と目されるガティガムはこれまでの生産技術では多くの技術的課題が顕在化していた。

本技術では、深海極限環境に着想を得て、高圧下で短時間、高温に加熱処理することにより熱分解などの副反応を抑えつつ、ガティガムを効率的に低分子化する連続プロセスの開発に成功した。さらに、低分子ガティガムのスケールアップ実証を行い、最終的には実生産規模へのスケールアップと生産コストの低減を実現した。

本技術は、深海極限環境より得られた発想と製造技術を融合した産学連携による成果であり、今後は介護食（嚥下食）や栄養補助・機能性食品向けへの展開を予定しており、高齢化社会においても生活の質および健康の維持に資するものである。

井上春成賞選考委員会委員

(敬称略、委員長を除き五十音順)

伊賀 健一 (選考委員長)	元 東京科学大学 学長 (現 名誉教授)
秋富 慎司	金沢医科大学 救急医学講座 教授 石川県医師会 参与
朝倉 富子	放送大学 教授
今井 浩三	元 札幌医科大学 学長 (現 名誉教授) 元 東京大学 医科学研究所 病院長
長田 裕之	微生物化学研究会 微生物化学研究所 特任部長
金井 求	東京大学 大学院薬学系研究科 教授
須川 成利	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授 東北大学 リサーチプロフェッサー・名誉教授
高原 淳	九州大学 ネガティブエミッションテクノロジー研究センター 特任教授
田中 充	産業技術総合研究所 計量標準総合センター 名誉リサーチャー
豊玉 英樹	株式会社エヌエフホールディングス 社外取締役
西本 清一	京都高度技術研究所 理事長 京都市産業技術研究所 理事長
原 亨和	東京科学大学 フロンティア材料研究所 教授
光石 衛	大学改革支援・学位授与機構 理事 日本学術会議 会長
満倉 靖恵	慶応義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授
宮下 永	未来工学研究所 研究参与

(2025 年 5 月 30 日現在)

井上春成賞委員会委員

(敬称略、委員長および監事を除き五十音順)

橋本 和仁 (委員長)	科学技術振興機構 理事長
岩渕 明	前 岩手大学 学長
片岡 正俊	元 東京都立産業技術研究センター 理事長
下田 隆二	新技術振興渡辺記念会 専務理事
中村 道治	科学技術振興機構 名誉理事長
西本 清一	京都高度技術研究所 理事長 京都市産業技術研究所 理事長
濱口 道成	日本医療研究開発機構 先端的開発研究戦略センター センター長 前 科学技術振興機構 理事長
藤嶋 昭	元 東京理科大学 学長(現 栄誉教授) 東京理科大学 総合研究院 スペースシステム創造研究センター 特別顧問
松永 道隆	NHK 京都放送局 総括デスク
美馬 のゆり	公立はこだて未来大学 教授 日本学術会議 会員
菅谷 行宏 (監事)	株式会社アイ・エス・シー 取締役
山田 理恵 (監事)	東北電子産業株式会社 代表取締役社長

(2025 年 5 月 30 日現在)